

2022 年度会津大学新入生の生活と意識に関する調査

蛭名 正司・沖 和砂

I. 問題と目的

本調査は、会津大学の教育・学生支援環境を点検・整備するための基礎資料を得るために、新入生の生活と意識、行動を分析することを目的としている。今回は、1998年、2000年、2002年、2004年、2006年、2008年、2010年、2012年、2014年、2016年、2018年、2020年に続く第13回目の調査である。

調査の主な関心は、会津大学の新入生が、会津大学へどのような過程で進学したか、学習面においてどのような意識・能力の特徴や経験を持った高校生だったのかを把握することである。

II. 方法

質問紙調査法を用い、大学主催の健康診断時（2022年4月）に調査用紙を配布・回収した。なお、回答は無記名である。対象者は、会津大新入生266名、有効回答数は、252名、回答率は、94.7%であった。

質問項目については、下記の通りである。

1. 基本的属性

1.1 年齢 1.2 性別 1.3 出身高校の所在地 1.4 出身高校の課程 1.5 出身高校の課程（その他記入）
1.6 入試区分 1.7 現在の住まい 1.8 主な通学方法

2. 会津大学への進学について

2.1 希望と評価 2.2 コンピュータ理工学部の専攻希望 2.3 受験決定時期
2.4 受検決定時期（その他記入）

3. 大学入学共通テストについて

3.1 理科 3.2 数学 3.3 外国語 3.4 地理歴史・公民 3.5 国語 3.6 その他

4. 高校時代の学習について

4.1 得意な科目 4.2 苦手な科目 4.3 高校時代に履修しなかった科目
4.4 会津大学受験時に考慮したこと 4.5 会津大学受験時に考慮したこと（その他記入）

5. 進路等について

5.1 希望進路 5.2 希望進路（その他記入） 5.3 コンピュータの知識 5.4 得意なこと・苦手なこと
5.5 勉強したいこと

6. PC等の使用状況等について

6.1 インターネット依存 6.2 情報端末の保有状況 6.3 自宅のネットワーク環境

7. 食生活について

7.1 摂取状況 7.2 欠食状況 7.3 就寝前の食事 7.4 食事のバランス 7.5 昼食内容

8. 生活について

8.1 不安や悩み 8.2 不安や悩みの内容 8.3 喫煙状況 8.4 飲酒状況 8.5 体重のコントロール
8.6 体力 8.7 受動喫煙の害 8.8 新型コロナウイルス感染症の心配 8.9 新型コロナウイルス感染対策

9. 学生相談室及び保健室について

9.1 相談する人の有無 9.2 学生相談室の存在認識 9.3 学生相談室の場所認識
9.4 学生相談室の利用希望 9.5 オンライン講座について 9.6 保健室の存在認識
9.7 保健室の場所認識 9.8 保健室の開室時間 9.9 体組成計による健康管理

Ⅲ. 調査結果

1. 基本的属性

本調査の対象は、会津大学新入生 266 名であり、回答率は、94.7% (252/266 名) であった。

1.1 年齢

新入生の平均年齢は、18.35±0.94 歳だった。

	平均値	標準偏差
Q1_1	18.35	.94

1.2 性別

回答者 252 名中、男性 223 名 (88.5%)、女性 26 名 (10.3%) であった。

		N	%
Q1_2	1男	223	88.5%
	2女	26	10.3%
	未記入/判別不可	3	1.2%

1.3 出身高校の所在地

新入生の出身高校の所在地は、福島県内が 90 名 (35.7%)、福島県外が 157 名 (62.3%) であった。

		N	%
Q1_3	1福島県内	90	35.7%
	2福島県外	157	62.3%
	未記入/判別不可	5	2.0%

1.4 出身高校の課程

出身高校の課程は、普通科が 202 名（80.2%）と最も多かった。

		N	%
Q1_4	1普通科	202	80.2%
	2専門学科	17	6.7%
	3その他	24	9.5%
	未記入／判別不可	9	3.6%

1.5 出身高校の課程（その他記入）

省略

1.6 入試区分

入試区分では、一般選抜 A が 130 名（51.6%）と最も多く、次いで学校推薦型選抜 A が 47 名（18.7%）、一般選抜 B が 45 名（17.9%）、学校推薦型 B が 21 名（8.3%）の順に多かった。

		N	%
Q1_6	1学校推薦型選抜A	47	18.7%
	2学校推薦型選抜B	21	8.3%
	3一般選抜A	130	51.6%
	4一般選抜B	45	17.9%
	未記入／判別不可	9	3.6%

1.7 現在の住まい

現在の住まいは、自宅外が 121 名（48.0%）と最も多く、次いで自宅が 84 名（33.3%）、創明寮が 42 名（16.7%）の順に多かった。

		N	%
Q1_7	1自宅	84	33.3%
	2創明寮	42	16.7%
	3自宅外（創明寮除く）	121	48.0%
	未記入／判別不可	5	2.0%

1.8 主な通学方法（1つ選択）

主な通学方法は、自転車が130名（51.6%）と半数以上を占めていた。次に、徒歩が87名（34.5%）と多かった。

		N	%
Q1_8	1徒歩	87	34.5%
	2自転車	130	51.6%
	3バイク	2	0.8%
	4自家用車	15	6.0%
	5バス	8	3.2%
	6鉄道	4	1.6%
	未記入／判別不可	6	2.4%

2. 会津大学への進学について

2.1 希望と評価

「会津大学への進学は、希望通りのことですか」という質問に対し、希望通りである学生は、215名（85.3%）であった。

		N	%
Q2_1	1おおいに希望通り	144	57.1%
	2どちらかといえば希望通り	71	28.2%
	3どちらともいえない	16	6.3%
	4どちらかといえば希望通りではない	14	5.6%
	5まったく希望通りではない	2	0.8%
	未記入／判別不可	5	2.0%

2.2 コンピュータ理工学部の専攻希望

「コンピュータ理工学を専攻することは、希望通りのことですか」という質問に対し、希望通りである学生は233名（88.5%）であった。

		N	%
Q2_2	1おおいに希望通り	189	75.0%
	2どちらかといえば希望通り	34	13.5%
	3どちらともいえない	11	4.4%
	4どちらかといえば希望通りではない	4	1.6%
	未記入／判別不可	14	5.6%

2.3 受験決定時期

「会津大学受験を決めたのはいつごろですか」という質問に対し、高校3年生の4月から11月の間（64名・25.4%）、高校3年生の1月（63名・25.0%）、高校1・2年生（61名・24.2%）の3つの時期に多くの学生が受験を決めていたことがわかった。

		N	%
Q2_3	1高校1・2年生	61	24.2%
	2高校3年生の4月から11月の間	64	25.4%
	3高校3年生の12月	23	9.1%
	4高校3年生の1月	63	25.0%
	5その他	23	9.1%
	未記入／判別不可	18	7.1%

2.4 受験決定時期（その他記入）

省略

3. 大学入学共通テストについて

大学入学共通テストで受験した教科について質問した（複数回答）。

3.1 理科

理科では、物理（186名・73.8%）と化学（157名・62.3%）を受験した学生が多いことがわかった。

		N	%
Q3_1_1	物理	186	73.8%
Q3_1_2	化学	157	62.3%
Q3_1_3	生物	13	5.2%
Q3_1_4	地学	4	1.6%
Q3_1_5	物理基礎	40	15.9%
Q3_1_6	化学基礎	38	15.1%
Q3_1_7	生物基礎	8	3.2%
Q3_1_8	地学基礎	3	1.2%

3.2 数学

数学では、数学Ⅰ・A（208名・82.5%）と数学Ⅱ・B（206名・81.7%）を受験した学生が多いことがわかった。

		N	%
Q3_2_1	数学Ⅰ	7	2.8%
Q3_2_2	数学Ⅰ・A	208	82.5%
Q3_2_3	数学Ⅱ	1	0.4%
Q3_2_4	数学Ⅱ・B	206	81.7%
Q3_2_5	簿記・会計	0	0%
Q3_2_6	情報関係基礎	1	0.4%

3.3 外国語

外国語は、英語以外の外国語を受験している学生はいなかった。

		N	%
Q3_3_1	英語	210	83.3%

3.4 地理歴史・公民

地理歴史・公民では、地理Bを受験した学生が110名（43.7%）と最も多かった。

		N	%
Q3_4_1	世界史A	1	0.4%
Q3_4_2	世界史B	8	3.2%
Q3_4_3	日本史A	2	0.8%
Q3_4_4	日本史B	13	5.2%
Q3_4_5	地理A	3	1.2%
Q3_4_6	地理B	110	43.7%
Q3_4_7	現代社会	37	14.7%
Q3_4_8	倫理	6	2.4%
Q3_4_9	政治・経済	10	4.0%
Q3_4_10	倫理、政治・経済	7	2.8%

3.5 国語

国語を受験した学生は、181名（71.8%）であった。

	N	%
Q3_5 国語	181	71.8%

3.6 その他

大学入学共通テストを受験していない学生は、16名（6.3%）であった。

	N	%
Q3_6_1 共通テストを受検していない	16	6.3%
未記入／判別不可	0	0.0%

4. 高校時代の学習について

4.1 得意な科目

「得意な科目は何でしたか。上位3つまで回答してください。」という質問に対し、数学（173名・68.7%）と英語（124名・49.2%）を得意と回答した学生が多かった。

	N	%
Q4_1_1 国語（古典・漢文除く）	61	24.2%
Q4_1_2 世界史	13	5.2%
Q4_1_3 日本史	6	2.4%
Q4_1_4 地理	28	11.1%
Q4_1_5 現代社会	17	6.7%
Q4_1_6 倫理	2	0.8%
Q4_1_7 政治・経済	3	1.2%
Q4_1_8 数学	173	68.7%
Q4_1_9 物理	89	35.3%
Q4_1_10 化学	35	13.9%
Q4_1_11 生物	7	2.8%
Q4_1_12 英語	124	49.2%
Q4_1_13 保健体育	29	11.5%
Q4_1_14 情報	51	20.2%

4.2 苦手な科目

「苦手な科目は何でしたか。上位 3 つまで回答してください。」という質問に対し、化学（125 名・49.6%）と国語（113 名・44.8%）が苦手と回答した学生が多かった。

		N	%
Q4_2_1	国語（古典・漢文を除く）	113	44.8%
Q4_2_2	世界史	45	17.9%
Q4_2_3	日本史	31	12.3%
Q4_2_4	地理	59	23.4%
Q4_2_5	現代社会	29	11.5%
Q4_2_5	倫理	6	2.4%
Q4_2_7	政治・経済	15	6.0%
Q4_2_8	数学	44	17.5%
Q4_2_9	物理	71	28.2%
Q4_2_10	化学	125	49.6%
Q4_2_11	生物	16	6.3%
Q4_2_12	英語	69	27.4%
Q4_2_13	保健体育理論	26	10.3%
Q4_2_14	情報	4	1.6%

4.3 高校時代に履修しなかった科目

高校時代に履修しなかった科目は、物理（39 名・15.5%）が最も多く、次いで数学Ⅲ（29 名・11.5%）、数学 B（10 名・4.0%）の順に多かった。

		N	%
Q4_3_1	数学I	1	0.4%
Q4_3_2	数学A	1	0.4%
Q4_3_3	数学II	2	0.8%
Q4_3_4	数学B	10	4.0%
Q4_3_5	数学Ⅲ	29	11.5%
Q4_3_6	物理	39	15.5%

4.4 会津大学受験時に考慮したこと

会津大学受験時に考慮したことについて、1.とても考えに入れた、2.どちらかといえば考えに入れた、3.どちらともいえない、4.どちらかといえば考えに入れなかった、5.まったく考えに入れなかったで回答を求めたところ、最も考慮したことは、“自分の興味関心”であった。

	平均	標準偏差
Q4_4_1学校の成績	2.95	1.57
Q4_4_2模試の成績	2.88	1.47
Q4_4_3自分の成績のよい科目	2.64	1.50
Q4_4_4自分の成績の悪い科目	2.74	1.42
Q4_4_5自分の好きな科目	2.63	1.49
Q4_4_6自分の嫌いな科目	2.96	1.43
Q4_4_7自分の興味・関心	2.36	1.56
Q4_4_8自分の性格の向き・不向き	2.82	1.37
Q4_4_9親の職業	3.42	1.64
Q4_4_10家庭の経済力	2.88	1.42
Q4_4_11入試科目・競争率	2.84	1.45
Q4_4_12資格を得る	2.90	1.41
Q4_4_13家族の意見	2.88	1.34
Q4_4_14先生の意見	2.81	1.34
Q4_4_15会津大の学生からの情報	3.19	1.51
Q4_4_16大学の設備	2.80	1.32
Q4_4_17大学の教育内容	2.45	1.40
Q4_4_18大学の就職実績	2.61	1.35
Q4_4_19大学の所在地	2.90	1.44
Q4_4_20大学卒業後の自分の進路	2.51	1.39
Q4_4_21大学の国際的環境	2.56	1.31

4.5 会津大学受験時に考慮したこと（その他記入）

省略

5. 進路等について

5.1 希望進路

学部卒業後の進路について、未定（92名・36.5%）である学生が最も多かった。大学院進学を希望している学生は、61名（24.2%）だった。

		N	%
Q5_1	1会津大学の大学院に進学希望	25	9.9%
	2他大学の大学院に進学希望	36	14.3%
	3就職希望	77	30.6%
	4起業希望	5	2.0%
	5未定	92	36.5%
	未記入／判別不可	17	6.7%

5.2 希望進路（その他記入）

省略

5.3 コンピュータの知識

新入生が入学時に知っているコンピュータの知識として多かったのは、“コンピュータが社会でどのように利用されているか”（180名・71.5%）についてであった。

		N	%
Q5_3_1 コンピュータの仕組み	1ある程度知っている	33	13.1%
	2少し知っている	94	37.3%
	3ほとんど知らない	111	44.0%
	未記入／判別不可	14	5.6%
Q5_3_2 コンピュータ関連の 仕事の内容	1ある程度知っている	26	10.3%
	2少し知っている	136	54.0%
	3ほとんど知らない	75	29.8%
	未記入／判別不可	15	6.0%
Q5_3_3 コンピュータが社会で どのように利用されているか	1ある程度知っている	42	16.7%
	2少し知っている	138	54.8%
	3ほとんど知らない	57	22.6%
	未記入／判別不可	15	6.0%
Q5_3_4 大学で行われている コンピュータの授業内容	1ある程度知っている	17	6.7%
	2少し知っている	111	44.0%
	3ほとんど知らない	109	43.3%
	未記入／判別不可	15	6.0%

5.4 得意なこと・苦手なこと

得意なことについて、1.得意、2.どちらかといえば得意、3.どちらともいえない、4.どちらかといえば苦手、5.苦手の5段階で回答を求めたところ、“知りたいことを調べること”が得意であることがわかった。一方で、“文章を書くこと”に対しては、得意ではないと感じていることがわかった。

	平均	標準偏差
Q5_4_1文章を書くこと	3.16	1.24
Q5_4_2本を読むこと	2.74	1.25
Q5_4_3筋道を立てて考えること	2.57	1.05
Q5_4_4知りたいことを調べること	2.11	1.03
Q5_4_5自分の意見を述べること	2.82	1.14
Q5_4_6人と協力して何かをやること	2.66	1.12

5.5 勉強したいこと

5.4の質問項目に引き続き、今後勉強していきたいことについて、1.勉強したい、2.どちらともいえない、3.勉強したくない、の3段階で回答を求めたところ、“筋道を立てて考えること”、“知りたいことを調べること”、“自分の意見を述べること”、“人と協力して何かをやること”を特に勉強したいと考えていることがわかった。

	平均	標準偏差
Q5_5_1文章を書くこと	1.50	.67
Q5_5_2本を読むこと	1.64	.64
Q5_5_3筋道を立てて考えること	1.22	.51
Q5_5_4知りたいことを調べること	1.27	.53
Q5_5_5自分の意見を述べること	1.24	.50
Q5_5_6人と協力して何かをやること	1.27	.54

6. PC等の使用状況等について

6.1 インターネット依存

「PC・スマートフォン等でインターネットに接続する時間が長くなり、日常生活に支障が出てきても、ネットから離れにくいということがありますか。」という質問に対し、ときどきある、よくある学生は、116名（46.0%）であった。

		N	%
Q6_1	1まったくない	29	11.5%
	2あまりない	91	36.1%
	3ときどきある	85	33.7%
	4よくある	31	12.3%
	未記入／判別不可	16	6.3%

6.2 情報端末の保有状況

現在、個人で保有している情報端末は、スマートフォン（223名・88.5%）が最も多く、次にPC（ノート）（172名・68.3%）が多かった。

		N	%
Q6_2_1	PC（ノート）	172	68.3%
Q6_2_2	PC（デスクトップ）	53	21.0%
Q6_2_3	タブレット	62	24.6%
Q6_2_4	スマートフォン	223	88.5%
Q6_2_5	その他	2	0.8%

6.3 自宅のネットワーク環境

自宅のネットワーク環境について、光回線（フレッツ光など）（103名・40.9%）を利用している学生が多かった。

		N	%
Q6_3	1光回線（フレッツ光など）	103	40.9%
	2WiMAXなど（スマホ以外のWiFiルーター、モバイルルーター）	29	11.5%
	3スマホのテザリング	17	6.7%
	4ネットワーク環境はあるが、上記のどれかわからない	74	29.4%
	5ネットワーク環境はない（ネットはスマホのみでコンピュータはネットに繋がっていないなども含む）	11	4.4%
	未記入／判別不可	18	7.1%

7. 食生活について

7.1 摂取状況

食事の摂取状況について、毎食きちんと食べている学生は、半数以上であった（143名・56.7%）。

		N	%
Q7_1	1 毎食きちんと食べていた	143	56.7%
	2 週1~2回どれか食べないときがあった	38	15.1%
	3 週3~4回どれか食べないときがあった	31	12.3%
	4 毎日きちんと食べていなかった	25	9.9%
	未記入/判別不可	15	6.0%

7.2 欠食状況

7.1 の質問で、毎食きちんと食べていた学生以外に対し、欠食していた食事について回答を求めたところ、朝食の欠食が多いことがわかった（85名・33.7%）。

		N	%
Q7_2	1 朝食	85	33.7%
	2 昼食	17	6.7%
	3 夕食	5	2.0%
	未記入/判別不可	145	57.5%

7.3 就寝前の食事

就寝前2時間以内に食事をとることについて、毎日ある学生が13名（5.2%）いることがわかった。

		N	%
Q7_3	1 毎日ある	13	5.2%
	2 週3~4回ある	44	17.5%
	3 週1~2回ある	82	32.5%
	4 まったくない	89	35.3%
	未記入/判別不可	24	9.5%

7.4 食事のバランス

食事のバランスについて、主食、主菜、副菜をとれている学生 121 名 (48%) ととれていない学生 (113 名・44.8%) と約半数ずつであった。

		N	%
Q7_4	1とれている	30	11.9%
	2どちらかといえとれている	91	36.1%
	3どちらかといえとれていない	90	35.7%
	4まったくとれていない	23	9.1%
	未記入／判別不可	18	7.1%

7.5 昼食内容

ふだんの昼食で食べているものについて、主食、副菜、主菜、水分は摂っているが、牛乳・乳製品や果物を摂っていない学生が多い傾向があることがわかった。

		N	%
Q7_5_1主食 (ご飯、パン、そば、 うどん、カップめん)	1食べて (飲んで) いる	231	91.7%
	2食べて (飲んで) いない	3	1.2%
	未記入／判別不可	18	7.1%
Q7_5_2副菜 (サラダ、野菜の煮物、 野菜炒め、煮豆など)	1食べて (飲んで) いる	139	55.2%
	2食べて (飲んで) いない	93	36.9%
	未記入／判別不可	20	7.9%
Q7_5_3 主菜 (豆腐、納豆、卵、肉、魚)	1食べて (飲んで) いる	174	69.0%
	2食べて (飲んで) いない	55	21.8%
	未記入／判別不可	23	9.1%
Q7_5_4牛乳、乳製品 (牛乳、チーズ、ヨーグルト)	1食べて (飲んで) いる	80	31.7%
	2食べて (飲んで) いない	140	55.6%
	未記入／判別不可	32	12.7%
Q7_5_5果物	1食べて (飲んで) いる	41	16.3%
	2食べて (飲んで) いない	180	71.4%
	未記入／判別不可	31	12.3%
Q7_5_6 お菓子 (カロリーメイト、菓子パンなど を含む)、嗜好飲料)	1食べて (飲んで) いる	64	25.4%
	2食べて (飲んで) いない	148	58.7%
	未記入／判別不可	40	15.9%
Q7_5_7水分 (水、お茶など糖分が入って いない飲み物)	1食べて (飲んで) いる	214	84.9%
	2食べて (飲んで) いない	16	6.3%
	未記入／判別不可	22	8.7%

8. 生活について

8.1 不安や悩み

入学時に、不安や悩みを抱えている学生は、131名（52.0%）と半数以上いることがわかった。

		N	%
Q8_1	1不安・悩みがある	131	52.0%
	2不安・悩みはない	94	37.3%
	未記入／判別不可	27	10.7%

8.2 不安や悩みの内容

8.1の質問に引き続き、不安や悩みの内容について回答を求めたところ、学業に関する不安や悩みが最も多いことがわかった（110名・43.7%）。

		N	%
Q8_2_1	学業	110	43.7%
Q8_2_2	健康	36	14.3%
Q8_2_3	性格・能力	38	15.1%
Q8_2_4	人生観	28	11.1%
Q8_2_5	課外活動	16	6.3%
Q8_2_6	就職や将来の進路	63	25.0%
Q8_2_7	友人等の対人関係のこと	49	19.4%
Q8_2_8	異性の問題	12	4.8%
Q8_2_9	性の問題	3	1.2%
Q8_2_10	経済問題（家計、学費、ローン）	28	11.1%
Q8_2_11	家族や家庭内のこと	2	0.8%
Q8_2_12	その他	14	5.6%

8.3 喫煙状況

ほとんどの学生が喫煙していないことがわかった。

		N	%
Q8_3	いいえ	232	92.1%

8.4 飲酒状況

ほとんどの学生が飲酒していないことがわかった。

		N	%
Q8_4	1はい	3	1.2%
	2いいえ	231	91.7%
	未記入／判別不可	18	7.1%

8.5 体重のコントロール

自分の体重を認識し、意識的に体重コントロールしている学生は54名(21.4%)であった。

		N	%
Q8_5	1はい	54	21.4%
	2いいえ	180	71.4%
	未記入／判別不可	18	7.1%

8.6 体力

「あなたの体力(筋力・持久力・バランス能力など)についてあてはまるものを選んでください。」という質問に対し、体力に余裕がない学生が半数以上であることがわかった(153名・60.7%)。

		N	%
Q8_6	1体力には充分余裕がある	12	4.8%
	2体力にはある程度余裕がある	68	27.0%
	3体力にはあまり余裕がない	99	39.3%
	4体力にはまったく余裕がない	54	21.4%
	未記入／判別不可	19	7.5%

8.7 受動喫煙の害

受動喫煙の害について、ほとんどの学生が知っていた。

		N	%
Q8_7	1よく知っている	155	61.5%
	2少し知っている	75	29.8%
	3知らない	5	2.0%
	未記入／判別不可	17	6.7%

8.8 新型コロナウイルス感染症の心配

新型コロナウイルス感染症について心配している学生は、半数以上いることがわかった。

		N	%
Q8_8	1まったく心配していない	33	13.1%
	2あまり心配していない	63	25.0%
	3少し心配している	110	43.7%
	4とても心配している	34	13.5%
	未記入／判別不可	12	4.8%

8.9 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策として、半数以上の学生は、マスクの着用（222名・88.1%）、手洗い・手指消毒（192名・76.2%）、人が多く集まる場所へ行かないこと（129名・51.2%）を行っていた。

		N	%
Q8_9_1	外出の際には、マスクの着用（咳エチケット）などの対策をしている	222	88.1%
Q8_9_2	石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒を行っている	192	76.2%
Q8_9_3	なるべく人が多く集まる場所へは行かないようにしている	129	51.2%
Q8_9_3	新型コロナウイルス関連の情報に注意している	94	37.3%
Q8_9_5	それ以外の対策をしている（記入者）	2	0.8%
Q8_9_6	対策をしていない	3	1.2%

9. 学生相談室及び保健室について

9.1 相談する人の有無

約80%の学生が、困ったときに相談する人がいると回答した。

		N	%
Q9_1	1はい	200	79.4%
	2いいえ	41	16.3%
	未記入／判別不可	11	4.4%

9.2 学生相談室の存在認識

学生相談室があることについて、ほとんどの学生は知っていた。

		N	%
Q9_2	1はい	194	77.0%
	2いいえ	32	12.7%
	未記入／判別不可	26	10.3%

9.3 学生相談室の場所認識

学生相談室の場所を知っている学生は、53名（21.0%）だった。

		N	%
Q9_3	1はい	53	21.0%
	2いいえ	182	72.2%
	未記入／判別不可	17	6.7%

9.4 学生相談室の利用希望

学生相談室を利用したいと考えている学生は、177名（70.2%）であった。

		N	%
Q9_4	1はい	177	70.2%
	2いいえ	51	20.2%
	未記入／判別不可	24	9.5%

9.5 オンライン講座について

「自己理解やストレスケアに関するオンライン講座に興味がありますか。」という質問に対し、63名（25.0%）の学生が興味を持っていることがわかった。

		N	%
Q9_5	1はい	63	25.0%
	2いいえ	175	69.4%
	未記入／判別不可	14	5.6%

9.6 保健室の存在認識

ほとんどの学生は、保健室の存在を知っていた。

		N	%
Q9_6	1はい	201	79.8%
	2いいえ	30	11.9%
	未記入／判別不可	21	8.3%

9.7 保健室の場所認識

保健室の場所を知らない学生が半数以上であった（145名・57.5%）。

		N	%
Q9_7	1はい	89	35.3%
	2いいえ	145	57.5%
	未記入／判別不可	18	7.1%

9.8 保健室の開室時間

保健室の開室時間について、70%以上の学生が知らなかった。

		N	%
Q9_8	1はい	56	22.2%
	2いいえ	177	70.2%
	未記入／判別不可	19	7.5%

9.9 体組成計による健康管理

体組成計を使って意識的に健康管理をしたい学生は、91名（36.1%）であった。

		N	%
Q9_9	1はい	91	36.1%
	2いいえ	148	58.7%
	未記入／判別不可	13	5.2%

IV. 考察

今回の調査の目的である、会津大学へどのような過程で進学したか、学習面においてどのような意識・能力の特徴や経験を持った高校生だったのかを把握することができたと考える。学生の回答から、進学までの過程と学習面についての意識・能力、経験について考察していく。

1. 進学までの過程

受験を決めた時期について、高校3年生になってから決断する学生が多いことが分かった。しかし、高校1・2年生で受験を決めた学生も25%ほどいた。高校3年生になる前から会津大学への受験を考える背景について、本学が早期入学制度を用いていることと関連があるかもしれない。また、受験時に、“自分の興味・関心”、“大学の教育内容”等を重視しており、やりたいことを実現できる可能性を求めて本学を希望したと考えられる。このことから、入学時では本学への進学を希望通りと回答した学生が多かったことがうかがえた。

高校時代に得意だった科目について、コンピュータ理工学部であるため、理系科目を得意とする学生が多いことが毎年の傾向である。しかし、近年、英語を得意とする学生が増えていることが、これまでの調

査との比較で把握できた。2020年度の調査では、英語を得意とする学生が87名(39.0%)であったのに対し、今回の調査では、124名(49.2%)であった。また、苦手な科目では、例年通り、国語と回答した学生が多かった。しかし、化学を苦手とする学生が2020年度の調査では85名(38.1%)だったのに対し、今回の調査では、125名(49.6%)であった。このことから、理系大学であっても、進学してくる学生の学習科目に対する得意・不得意の認識は、多様化しているといえる。

2. 学習面についての意識・能力、経験

新入生のほとんどが、普通科を卒業している学生であり、コンピュータに関する知識やコンピュータの活用に関する情報を高校時代に学習しているわけではない。従って、大学においてコンピュータに関する知識や技術の習得を目指す学生がほとんどであるといえる。特に、コンピュータの仕組みや大学で行われているコンピュータの授業内容についてはほとんど知らない学生も多いことがわかった。学生の実態と授業内容との比較を行うことで、効果的な学習の機会の提供に繋がる可能性がある。

高校時代までの経験において、文章を書くことを得意としない学生が多いことは、毎年の傾向である。これに対し、大学で文章を書くことを学んでいきたいと考える学生もいる。このような実態において、文化研究センターの教員が担当する「アカデミック・スキル1」「アカデミック・スキル2」では、論理的に文章を読む・書くという授業を行っている。専門科目以外においても、新入生の学習意欲の実態を把握したうえで授業を展開できるといえる。

コンピュータの専門的な知識や技術は浅いものの、保有している情報端末の回答から、ほとんどの学生が、スマートフォンやPC(ノート)を保有しコンピュータに触れる機会が多いことがわかる。しかし、こうした情報端末を簡単に使用できる、占有できる機会があることで、日常生活に支障が出てきても、ネットから離れにくい学生が半数近くいることがわかった。今後、心身の健康問題とともに、コンピュータの適切な使い方についても指導していくが必要になる。

V. まとめ

本調査は、会津大学学生課学生支援係、生活調査ワーキンググループにより、質問項目を時代に合わせて変化させながら、1998年より継続的に行ってきた。今回の調査で13回目となり、経年比較も十分に行ってきたといえる。この調査結果をもとに、学習内容、学習しやすい環境、心身の健康維持等を再考することとなり、学生支援の一助を担ってきた。しかし、本調査以外にも、学生支援を目的とした調査は行われており、本調査の意義や目的が、他の調査でも補うことができるのではないかと、という問題提起がなされた。話し合いの末に、本調査は2022年度をもって終了することとなった。

今後、学生の支援を目的とした調査は別に行い、その結果をもとに、大学の運営・支援に役立てていきたいと考える。これまでご協力いただいた皆様に対し、感謝の意を表す。

参考文献

- ベネッセ教育総研 2001 報告書「学生満足度と大学教育の問題」
- 菊地 則行・中澤 謙 1999 98年度会津大学新入生の生活と意識1ー基礎集計ー 会津大学文化研究センター研究年報 第5号 61-79
- 菊地 則行 2000 98年度会津大学生の生活と意識2ークロス集計 会津大学文化研究センター第6号 37-89
- 菊地 則行 2000 98年度会津大学生の生活と意識2ークロス集計ー 会津大学文化研究センター研究年

- 報 第6号 61-79
- 菊地 則行・中澤 謙 2001 2000 年度会津大学新入生の生活と意識 1 ―基礎集計― 会津大学文化研究センター研究年報 第7号 63-86
- 菊地 則行 2002 2000 年度会津大学生の生活と意識 2 ―クロス集計：学習生活の違いによる分析― 会津大学文化研究センター研究年報 第8号 23-47
- 菊地 則行・中澤 謙 2003 2002 年度会津大学生の生活と意識 1 ―基礎集計― 会津大学文化研究センター研究年報 第9号 133-174
- 菊地 則行 2004 2002 年度会津大学生の生活と意識 2 ―クロス集計：学習スタイルの違いによる分析― 会津大学文化研究センター研究年報 第10号 39-61
- 菊地 則行・中澤 謙 2005 2004 年度会津大新入生の生活と意識 1 ―基礎集計― 会津大学文化研究センター研究年報 第11号 33-50
- 菊地 則行・中澤 謙 2007 2006 年度会津大生の生活と意識 1 ―基礎集計― 会津大学文化研究センター研究年報 第13号 97-137
- 菊地 則行・中澤 謙 2009 2008 年度会津大新入生の生活と意識 1 ―基礎集計― 会津大学文化研究センター研究年報 第15号 53-71
- 菊地 則行・中澤 謙 2011 2010 年度会津大学生の生活と意識 1 ―基礎集計― 会津大学文化研究センター研究年報 第17号 91-137
- 菊地 則行・中澤 謙 2013 2012 年度会津大学新入生の生活と意識 1 ―基礎集計― 会津大学文化研究センター研究年報 第19号 109-132
- 菊地 則行・中澤 謙 2017 2016 年度会津大学新入生の生活と意識 1 ―基礎集計― 会津大学文化研究センター研究年報 第23号 25-52
- 中澤 謙・菊地 則行 2017 2016 年度会津大学生の生活と意識 1 ―基礎集計― 会津大学文化研究センター研究年報 第23号 53-106
- 中澤 謙 2019 2018 年度会津大学新入生の生活と意識 1 ―基礎集計― 会津大学文化研究センター研究年報 第25号 73-99
- 中澤 謙 2019 2018 年度会津大学生の生活と意識 1 ―基礎集計― 会津大学文化研究センター研究年報 第25号 101-151
- 蛭名 正司・沖 和砂・中澤 謙 2021 2020 年度会津大学新入生の生活と意識 1 ―基礎集計― 会津大学文化研究センター研究年報 第27号 11-34
- 沖 和砂・蛭名 正司・中澤 謙 2021 2020 年度会津大学生の生活と意識 1 ―基礎集計― 会津大学文化研究センター研究年報 第27号 35-92